

令和4年度 総合的な学習の時間 全体計画 江戸川区立篠崎小学校

名称: チャレンジタイム

学校の教育目標	○よく考える子(自分から進んで課題を追究する子、深く考え判断する子) ○心豊かな子(感性に富み、思いやりのある子、やり抜く意志のある子) ○じょうぶな子(明るい子、元気な子、体力のある子、すすんで運動に取り組む子)
---------	---

国が示す総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

学校の総合的な学習の時間の目標

- 1 「えどがわ大好き」「しのぎき大好き」をテーマとし、横断的、総合的な学習を通して、地域社会に参画し、貢献する子の育成を図る。
- 2 学校農園を利用した栽培活動や地域を中心とした活動を取り入れ、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する。
- 3 児童の主体的・創造的な活動を展開するために、グループ学習等の多様な学習形態を工夫することから学び方やものの考え方を身に付ける。
- 4 児童一人一人がもつ興味や関心を引き出し、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協働的に取り組む態度を育てる。
- 5 地域を中心に学習することにより、地域の人々とかかわったり触れ合ったりし、地域の人々への感謝の気持ちや尊敬する気持ちをもたせるとともに、自己の生き方を考えることができるようにする。

育てようとする資質や能力及び態度

知識及び技能	
第3・4学年	第5・6学年
地域の環境の現状や環境を保全する人々の工夫や努力が分かる。情報を比較・分類するなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。	地域の産業のよさと課題、携わる人々の願いや、地域の未来像と自分たちの生活との関わりが分かる。情報を比較・分類・関連付けるなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。
思考力・判断力・表現力等	
第3・4学年	第5・6学年
自分の関心から地域についての課題を設定し、解決方法を考えて追究している。目的に応じた対象を決め、身近なところから情報を集めている。事実や関係を、事象を比較したり分類したり、数量などで客観的に比較したりして、特徴を見付けている。相手に応じてわかりやすくまとめ、表現している。	地域の人々等の思いをふまえて課題を設定し、解決方法や手順を考え、見通しを持って追究している。目的に応じて手段を選択し、情報を収集したり、必要な情報を選んだりしている。視点を明確にして、事実や関係を、整理した情報を関連付けたり、多面的に考察したりして理解し、多様な情報の中にある特徴を見付けている。相手や目的、意図に応じ、工夫してまとめ、表現している。
学びに向かう力・人間性等	
第3・4学年	第5・6学年
課題の解決に向け、目的意識を持ち、友だちと力を合わせて探究活動に意欲的に取り組んでいる。自分のよさや自分にできることに気付いている。自分と異なる意見や考えがあることに気づき、相手の立場を理解する。自分と地域とのつながりに気づき、地域の活動に参加しようとしている。	課題意識をもって、自分なりの方法を工夫しながら探究活動に取り組んでいる。他者と協働して探究活動に取り組む大切さに気付いている。探究活動を通して、自分の生活を見直し、自分の特徴を理解しようとしている。異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しながら、探究活動に取り組んでいる。探究活動を通して、自分と実生活・実社会の問題の解決に取り組もうとする。

内容	学習対象	学習事項
第3学年	【地域】 地域に暮らす人とその人たちが大切にしている文化や価値観 小松菜栽培の歴史や文化とその継承に力を注ぐ人々	・地域の文化や伝統のもつ特徴 ・地域の文化や伝統の継承に力を注ぐ人々の思い ・自分の住む町の良さ ・身近な農業の存在とその良さ ・パソコンの操作に慣れる。 ・プログラミングに慣れる。
第4学年	【福祉】【伝統文化】 町のユニバーサルデザインと、その人たちが大切にしている文化や価値観 江戸川区や東京都の歴史や文化とその継承に力を注ぐ人々	・地域の文化や伝統のもつ特徴 ・地域の文化や伝統の継承に力を注ぐ人々の思い ・自分の住む町の良さ ・身近な農業の存在とその良さ ・パソコンの操作に慣れる。 ・パソコンの操作に慣れる。 ・プログラミングに慣れる。
第5学年	【環境】 自然環境を大切にしながら米作りを担う人々の文化や価値観 自ら暮らす街・地域の環境を守る人々や取組	・地域の環境を守るために力を注ぐ人々の思い ・米作り、雪国の文化や伝統の継承に力を注ぐ人々の思い ・自然の存在とその良さ ・パソコンの操作に慣れる。 ・プログラミングに慣れる。
第6学年	【国際理解】【生き方】 地域に暮らす人及び日光に暮らす人たちが大切にしている文化や価値観 将来への展望とかかわりて訪ねてみたい人や機関	・地域や日本の国の文化や伝統の継承に力を注ぐ人々の思い ・世界遺産等の伝統の継承に力を注ぐ人々の思い ・自然の存在とその良さ ・将来に希望を抱かせる気持ち ・パソコンの操作に慣れる。 ・プログラミングに慣れる。

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
・3年生は地域、4年生は江戸川区・東京都の伝統・文化、福祉、5年生は環境、6年生は国際理解・生き方を主なテーマとして、単元は学年で開発する。 ・「えどがわ大好き、しのぎき大好き」をテーマに、日常生活と地域生活との関連を常に意識させる。 ・本校の特色ある教育活動である学校農園での栽培体験活動は、年間を通した単元として行う。 ・学校応援園ボランティアや地域の施設・人材を活用した取組により、自らも地域の一員であるという自覚や地域に貢献したいという意識を育く。	・教科の基礎的・基本的内容を身に付け、生かせるようにする。 ・児童の課題意識を連続発展させる支援 ・個に応じた指導の工夫 ・諸感覚を駆使する体験活動の重視 ・協働的な学習活動の充実 ・教科との関連的な指導の重視 ・対話を中心とした個別支援の徹底 ・言語活動による体験の意味の自覚化 ・体験的な活動や人とかかわりを促す場の工夫	・地域教育力の人材バンクへの登録と効果的運用 ・チーム・ティーチングの日常化 ・担任外の教職員による支援体制の樹立 ・教育効果をあげるため、学習・校内環境を整備し、専門家や、家庭や地域、関係諸機関と協力して積極的に外部の人材を活用していく。	・観点別学習状況について、各単元の目標に即した規準で評価し、必要な補充指導を行う。 ・個人内評価の重視 ・指導と評価の一体化の充実 ・学期末、学年末における指導計画の評価の実施 ・授業分析による学習指導の評価の重視